

世界自然遺産登録へ
奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島

伊 議 会 誌 よ り し せ ん



「世界の徳之島へ!!」
祝 世界自然遺産登録決定

第70号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3111

編集 議会広報編集委員会
印刷 ㈱奄美新生社印刷

令和3年第4回臨時会(5月20日) 議案・審議・議決結果

議案番号	件名	議員名(議席番号順)													議決結果	
		杉山肇	牧本和英	西彦二	佐田元	清平二	岡林剛也	牧徳久	上木千恵造	永田誠	前徹志	明石秀雄	樺山一	美島盛秀		福留達也
議25	令和2年度耐震性貯水槽整備事業(1工区)請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

令和3年第2回定例会(6月8日~11日) 議案・審議・議決結果

発3	伊仙町議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議26	伊仙町辺地総合整備計画の策定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	原案可決
議27	伊仙町空家対策推進に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議28	伊仙町子ども医療費助成条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議29	伊仙町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議30	伊仙町国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議31	伊仙町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議32	伊仙町指定介護予防支援等の事業の人員、運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議33	伊仙町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議34	伊仙町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議35	伊仙町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議36	令和3年度伊仙町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議37	令和3年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議38	令和3年度伊仙町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
令2陳8	定住促進住宅建設に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳2	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元、複式学級の解消を図るための、2022年度政府予算に係る意見書採択の要請について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
発4	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

【表の見方】議：議案 陳：陳情 承：承認 発：発議 ◎：全会一致 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 -：表決権なし
 ※福留達也議員は議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決(賛成、反対の意思表示)権はありません。

選挙管理委員会の委員・補充員選挙

第2回定例会最終本会議(6月11日)において、任期満了に伴う次期選挙管理委員及び補充員の選挙が行われ、議長の指名推薦による選挙の結果、全会一致により以下の8名の方々が選任されました。

【選挙管理委員】

- 額 津太郎さん
- 中 村 浩 三さん
- 義 山 正 夫さん
- 徳 宏 二さん

【補充員及び補充順位】

- ① 永 島 均さん
- ② 上 木 大 助さん
- ③ 富 岡 恒太郎さん
- ④ 永 岡 和 男さん

※任期：令和3年6月25日から令和7年6月24日まで

令和3年 第2回定例会

一般質問



前 徹志 議員

次期町長選挙について

問

任期満了に伴う町長選挙が、本年10月に執行予定となっているが、次期町長選挙への大久保町長の意向を問う。

(町長)

答

伊仙町長に就任し間もなく20年が経ちます。当初、この伊仙町を変えるという大胆なキャッチフレーズで当選し、2期目に、政争から政策の町に変

えていくという志で町政を行っていった。私が終始目指していた政治は、いかに人口減少を食い止めるかという点であり、各小中学校の児童生徒数を見ても分かるのとおり、ここ10年間で129名の子どものも減っている。途中、子どもが減った時期もあったが、住宅政策を進めていけば増えてくると考えている。そして、今までやってきたことを次の4年間でさらに推進し、

私の伊仙町長としての残った力を全力で出し切って進めていきたい。



6期目への出馬を表明する大久保町長

問

日本マルコ等の企業誘致、ほーらい館、なくさみ館、町内小規模校区への住宅政策等、確かにこの20年で伊仙町は変わったと感じるが、町民の声の中には、20年は長いとの批判もある。そのような町民に対し、どのように説明し理解を得るのか問う。

(町長)

答

大島郡内でも過去には7期務めた首長もいらっしやるし、私は町長になりたいからではなく、伊仙町をもっと良くするために頑張りたいと考えてい

る。今後、この町を医療と福祉を中心とした(※農福連携)を推進し、高齢者や障害のある方々にも農業生産に関わっていくような仕組みをつくっていくことが地方にとって、地域にとっては人口維持にもなるし、健康増進にもつながっていくと考えている。

そして今後、コロナ禍によって人の流れは間違いなく大きく変わっていく。その中でサテライトオフィス等の企業誘致も強力に推進していきたいと考えている。

また、人材育成について今非常に痛感しており、職員を中心とした人材育成にも力を注いでいきたい。

農業用水について

問

伊仙中部地区のスプリンクラー改修事業の進捗状況について問う。

(耕地課長)

当該事業の進捗状況については、現在県と協議のうえ、長期計画に盛り

込んでいる所であり、今後伊仙中部地区(古里地区(阿三地区)の農家からの同意も必要であり、調査に時間を要すると考えられる。また、スプリンクラーが消失している箇所、破損、盗難等で使えない状況であるとの相談があるが、あくまでも圃場内は受益者管理となっている。

問

畑総地内における町有地の調査状況について問う。

(耕地課長)

昨年度から調査を開始し、順調に進んでいる。対象地域のうち、伊仙中部地区において町有地の耕作をされている農家へ聞き取りを行い、希望する農家には早急に払い下げを行う方向で準備を進めている。また、払い下げについては、トラブル等が起きないよう現在耕作をされている方が、隣接する畑の所有者までの同意を得て、進めていきたいと考えている。



美島 盛秀 議員

大久保町政5期20年の是非について

問 平成14年1月14日未明に、大久保町長の自宅、

役場庁舎2か所への発砲事件は、暴力団員との町長選挙絡みがあったのではないかと。事件後に示談書が交わされており、示談金50万円が支払われ成立したとのことであった。この50万円の内、4万6,500円は、ガラス修理代として支払われたとのことであるが、残りの約45万円をどのように処理したのか問う。

(町長)

答 当時から何度も答弁し、報道等にも明確に書かれているが、選挙とは全く関係のない話である。

ただ、その方とは、紹介をされ2〜3分程度顔を合わせたことははっきりしている。また、示談金に関しては、ガラスの修理代を差し引いた金額を、町の財産として当時の総務課長に渡したと記憶している。

問

平成15〜17年度に伊仙町堆肥生産組合で発生した使途不明金について、最後の入金確認日が平成26年3

月で、残金225万円となっている。町長は当時の特別委員会において、「しっかりと責任を取っていきます」と答弁しているが、その責任をどう負ったのか問う。

(町長)

答 これは、表現するものも苦しいほど全国を震撼させた事件後のことで、そういう精神状態の中での使途不明金であった。ある程度返納されているが、最近居場所不在な状況となっているので、しっかりと説明していただき話合いを行い解決します。

糖業振興会における使途不明金について

糖業振興会における使途不明金について

問

3月24日開催された全員協議会において、今後訴訟を起こすとの説明であったが、今後の流れ、経緯について問う。

(経済課長)

答 4月8日に糖業振興会の臨時総会が開催

された。告訴については予備費を充当して行うことが承認され、弁護士より告訴状が届き次第、徳之島警察署へ届ける予定である。民事訴訟、損害賠償請求訴訟につきましては、資金繰りの厳しい糖業振興会において行うのはいかなるものかという意見が大半を占めており、手続きが取れていない。

議会傍聴の心得を無視した、議場内への乱入者について

問 一般質問者に対する妨害や威圧を与えるような事を町長が示唆したことはないか問う。

(町長)

答 昨年の議会で起こったことだと思うが、傍聴に来るのは個人の自由であり、そのことに関し町長が妨害や威圧を与えるようなことを示唆しているということはない。

※この件については、公務執行妨害及び傷害罪で現在告訴している。



役場庁舎



上木 千恵造 議員

徳之島愛ランドクリーンセンター移設問題の進捗状況は

問 第1回定例会において
も質疑したが、建設候補地として、天城町、伊仙町が名乗りを上げており、今後環境調査等を実施した後、建設地を決定することのであった。また、新設には多額の費用がかかり島民の負担が大きくなることから、別案として基幹改良事業を導入し、現在稼働している2基の焼却炉のうち1基を入れ替え、現施設の延命化を図ることも検討されているとのことであった

が、その後3カ町及び広域議会で検討がされたのか、現時点での進捗状況を問う。

答 (町長) 約3年前から検討委員会を立ち上げ議論を行ってきた。長寿命化を基本とする基幹改良という形が国及び県の補助事業の対象となったため、広域連合議会で議論を行った結果、現施設の基幹改良を行っていくことが可決された。

(きゅらまち観光課長)

5月28日に徳之島愛ランドクリーンセンター施設整備

に関する合意書が締結され、正式に基幹改良を行うこととなったため、目手久地区での住民説明会を行い、事業申請準備に取りかかっている。また、今後のスケジュールとして、令和3年度に長寿命化計画の策定、令和4年度に設計図書、発注図書の作成、令和5年度に工事発注を行い、基幹改良工事に着手していく。同時に、新設に当たっては令和8年度に長寿命計画の策定、令和10年度に施設整備計画の策定、その他調査等を行い、令和14年度より新設工事の着手予定としている。

問 基幹改良事業を導入し、現施設を継続使用していくにあたり、東西目手久地区を中心とした地域振興策は考えているのか問う。

答 (きゅらまち観光課長) 集落の活性化に役立てるような予算措置を行い、使い道については、集落で自由に使用できる基金

的なものが一番良いのではないかと考えており、今後集落との協議を行いながら進めていきたい。

ごみの減量化について

問 焼却施設の施設あるいは基幹改良を導入するにせよ、ごみの減量化は避けずには通れない。今後、ごみの減量化対策について、どのような方策を考えているのか問う。

(きゅらまち観光課長)

答 ごみの減量化については、現在より約2,000トンのごみ削減が求められている。それに伴い実態を把握するために、家庭におけるごみの減量化対策として、廃棄量や種類の調査を6月1日より開始しており、調査結果をもとに目標達成の可能性について検討していきたい。また、女性連を中心に、コンポストの使用方法を習得していただき、町内全域に波及させていきたいと考えている。



徳之島広域愛ランドクリーンセンター



清 平二 議員

**放課後児童クラブの延長
保育料の見直しを**

問

6時以降の延長保育料について、30分遅れで1,000円、6時半を超える15分毎に500円が加算されるのとことである。徳之島でのパート賃金が1時間平均850円程度で、比較すると約2倍の金額設定となっており高いと思われるが設定理由を問う。

答

(子育て支援課長)

この料金設定に関しては、安易な延長利用を控えていただくために高く

**農業用廃プラスチック類
の不法投棄対策を**

問

世界自然遺産登録も目前に迫ってきた状況であるが、令和2年度分の農業用廃プラスチック類の回収実績を見てみると、まだまだ回収率を上げる必要があると思われる。三町で比較しても徳之島町は伊仙町、天城町の半分しか回収実績がないが、このことについて協議などは行っていないのか問う。

(経済課長)

答

本来であれば農家個人が産業廃棄物処理業者へ処理の委託を行わなければいけないが、三カ町協議会において回収し、処理を委託している。また、回収率を上げるための施策について、令和3年度は農繁期や肥料等の使用時期を考慮した回収時期の変更、さらに令和4年度については回収回数を増やすことが協議されている。

問

回収された廃プラ類は産業廃棄物処理業の許可を得た業者が埋め立て処理をするとのことだが、世界自然遺産登録も目前であり、他に適正な処理ができないのか問う。

(経済課長)

答

処理方法については、産業廃棄物処理業の許可を得た業者がその法に基づき適切に処理しているものだと考えている。

町内巡回バスの運行見直しを

問

町内巡回バス(地域コミュニティバス事業)の3巡目の利用者がほとんどいない状況であるが、改善策はないのか問う。

答

(健康増進課長)

当該事業に関して、地域包括ケアシステムの体制づくりというところで、高齢者の買物支援や散在した集落を結



現在、コロナ禍で運休している町内巡回バス

ぶこと等を目的として7年ほど前から検討を重ねてきた事業である。まだ町民の方々には、ほーらい館バスという認識があり、まだまだ周知が足りない部分がある。今後、各課とも協議を重ね利用促進を図っていききたい。

世界自然遺産登録視聴会の様子 令和3年7月26日(月) 天城町防災センターにて



関係者による視聴会の様子



小泉環境大臣によるお祝いメッセージ



発表の瞬間



塩田県知事のお祝いメッセージ



太鼓を叩き歓喜の手舞い



3町長、福留議長及び関係者によるくす玉開き



参加者での記念撮影

議会の動き

令和3年第2回伊仙町議会定例会における諸般の報告(議長の動静)
 動静期間: 令和3年第1回定例会(3月19日)以降の分

月	日	行事名	場所
令和3年3月	24日	議会全員協議会	委員会室
	29日	令和3年第2回町議会臨時会	議事堂
令和3年4月	7日	第54回 戦艦大和を旗艦とする特攻艦隊戦没将士慰霊祭	犬田布岬
	8日	議会議長・事務局長合同会	奄美市
	20日	経済建設常任委員会	委員会室
	20日	直売所百菜損失補償費調査特別委員会	委員会室
	26日	県政説明会	鹿児島市
	21日	徳之島地区農業総合対策推進協議会総会	JA徳之島本部
	28日	令和3年第3回町議会臨時会	議事堂
	28日	瀬田海海開き(神事のみ)	瀬田海公園

月	日	行事名	場所
4月	30日	徳之島地区防犯協議会監査	徳之島警察署
令和3年5月	1日	和泊町制施行80周年記念式典	和泊町
	10日	県離島振興町村議会議長会臨時総会・議長研修会	鹿児島市
	11日	鹿児島県町村議会議長会主催議員研修会	鹿児島市
	20日	令和3年第4回町議会臨時会	議事堂
	21日	伊仙町商工会通常総会	農業共済組合
令和3年6月	1日	徳之島空港利用促進協議会総会	天城町役場
	3日	議会運営委員会(第2回定例会議事日程等)	委員会室
	8日	令和3年第2回伊仙町議会定例会開会	議事堂

※掲載されている行事以外にも、各種協議会及び集落行事等にも出席しておりますが、予めご了承下さい。

次回の定例会は9月です!

※議会傍聴に関するお願い(新型コロナウイルス感染症対策)

令和3年第3回定例会は、9月7日(火)からを予定しておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、伊仙町議会では議会傍聴について、次のとおり対応いたします。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- 密集・密接を避けるため、傍聴を制限させていただく場合があります。
- マスク着用(※各自で持参)をお願いします。
- 手洗い、手指の消毒を徹底してください。(傍聴席入口に消毒液があります。)
- 咳エチケット、間隔を空けての着席にご協力ください。



※当日、熱(37.5度以上)のある場合や、体調不良(だるい、咳が出る等)の場合は傍聴をお控え下さい。

なお、第3回定例会におきましても、「YOU TUBE LIVE」でのライブ中継や録画映像をご覧ください。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。 電話 86-3111 (内線16番)



編集後記

少しずつ日差しも和らぐ時期になり、町民の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。この編集後記を書いているのは8月下旬であります。島内においては、新型コロナウイルスの感染が拡大し、医療機関においてもクラスターが発生するなど、予断を許さない状況となっております。

我々伊仙町議会においても、町執行部と連携しこれまで以上にコロナ対策を強化すべく、今必要な政策を速やかに実行できるよう緊張感を持って取り組みたいと考えています。

一方で、7月26日には「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が正式に世界自然遺産に登録され、大変喜ばしい出来事もありました。今後、世界自然遺産登録によって観光客の増大による経済的な面、定住人口や関係人口による地域の活性化などプラスな面もありますが、それと同時に私たちはこの島にしかない希少動植物を守っていく義務も負わなければなりません。先人たちが守り、残してくれた貴重な宝(自然や文化)を未来の子どもたちへ引き渡していくための持続的な観光振興につなげられるよう伊仙町議会としても取り組んでまいりますので、町民の皆さまのご理解とご協力をお願いし編集後記といたします。

(文責 上木 千恵造)

議会広報編集委員会



- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 前 徹 |
| 副委員長 | 杉山 肇 |
| 委員 | 岡林 剛也 |
| 委員 | 上木 千恵造 |
| 委員 | 佐田 元 |